

2年生学年だよ

令和元(2019)年7月11日
第17号
吹田市立第二中学校第二学年



先週の道徳で「いじめ」に関する授業を学年一斉で行いました。みんなの心の声とそれに対する返事を書きました。きわどい内容や激しい言葉もありますが載せました。なぜなら上辺だけでなくあなたたちと正面から向き合って話をし、一緒に前進していきたいからです。14歳という「子どもから大人への階段をあげるこの年」に、しっかりと仲間の心の声を聴き、そしてもう一度自分を見つめなおしてみてください。

Aさん

「一番弱いニワトリがかわいそう。みんなで仲良くいけばいいのに。言葉で人の命が奪われることはとても怖いことだから、今まで以上に自分が言われていやなことは絶対に言わないようにする。まわりでたまに「キモイ」という言葉が飛んでいるときがあるから、そこを自分も言わないし言っていたら注意するようにする。学年に今、男・女どちらも力の関係があるような気がする。」

Bさん

「このクラスでは言葉遣いが少し気になる人がいて注意したい気持ちはあるけど、こわいからできない。もう少し言葉使いを考えた方がいいと思う。」

→ いやな言葉を注意したい気持ちはあるけど怖いからできない。これがカの関係だよ。これをなくしたい。誰もがちゃんと正しいことを言える学年にしたい。完全になくせるかどうかはわからない。でもそのカのあるのが当たり前として受け入れるのと、それに疑問を持つのでは全然違うと思う。この学年のだれ一人として優しい心を持っていない人はいないはず。みんながその優しい心を大切にしていこう。それを信じる気持ちを先生たちも大切にしたいと思う。



Cさん

「生きるのが嫌になったのは何回もあるし、ストレスがたまりすぎて生きるのが辛くなったこともある。だけど僕はとりあえず友達と遊ぶのが楽しいとわかっていたから、友達の存在がとても嬉しかった。嫌なことがあったら自分が一緒にいて一番楽しいなあと思える人に相談も僕はありかなと思います。」

→ 自分が楽しいことに目を向ける。友達に相談する。大切なことだね。良かったらどんなことでも先生たちも話を聞くから、いつでも相談してね。

Dさん

「自分的には「強い・弱い」関係なくみんなが言いたい意見を裏じゃなくて目の前でいえる環境を作りたい。自分はいじめのような事がないように常に人を大切に、大事にしようと思った。毎日みんなが笑顔で学校が楽しいと思えるような学年・クラスにする。」

Eさん

「友達が苦しい顔や辛い顔をしていたら声をかける。少しでも友達の力になるように全力で助ける。クラスの中にしんどい人がいなく、みんな平等で笑顔になれるクラスにする。当たり前前は当たり前にする。一つひとつの行動が本当に正しいか、それをやって友達は傷ついていないか、常に相手の気持ちを考えて大切に過ごしていきたいと思いました。」



→ そのように思える人が、ひとり、またひとりが増えていけば学年全体が明るくなるよね。ろうそく1本では狭い範囲しか明るくできないけど、ろうそくが学年のあちこちにあると全然違うと思います。「一隅(いちぐう)を照らす」って言葉もよかったら調べてみてね。

Fさん

「今日の授業を毎年、全学年にやればいいと思う。」

Gさん

「自分と同じような年の子どもが死を決意することは本当に言葉で言い表せないほど悲しい。自分はアンケートで「キモイと言われた」と書いてから、この話を聞くとなぜかわからないけど涙があふれた。いつも学校で明るくしてるけど家に帰って辛くなるときが少しあった。資料①をみて一番思ったのは「力になれる人はいなかったのかな」ということ。もし、まわりに「大丈夫？」とかを言ってくれる人が1人でもいれば死を選択した子も明るい人生を選択できたかもしれない。そう考えるとこれからまわりでいじめや、いじめにつながることもあるなら、少しでも力になってあげたいと感じた。自分もいじめられたくないと思うかもしれないけど、1人で抱え込むよりも、2人で抱えて分けあえる方が自分は良いと思う。だからまわりにそういう人がいたら助けてあげたい。守ってあげたいと改めて思った。自分の気持ちを考えるのに良い時間になった。」

→ ごめんね。辛かったね。先生たちは君を助きたい。君を守りたい。

Hさん

「今までいじめはダメと言われてきてアカンってわかってたつもりでいたけど、こんな感じで授業して改めて考えると「俺ってあんまわかってなかったんかも」とか思った。暴言を言ったこともあれば暴力をふるったことだってある。良く考えると自分がさ

れたら悲しくなることを他人にしている。まさに今日の授業と同じだと思った。」

→ そう、思えたのはあなたの中に優しい心があるからだと思うよ。大丈夫。しっかり反省して前に進もう。大切なのは今日からのあなたの行動と言葉です。周りのみんなも見ているよ。

Iさん

「中嶋先生が3組に帰ってからしてくれた「先輩が本当に死んでしまった話」がすごく心にささりました。軽い気持ちで言ったことも人によってとらえ方が違うので、絶対に「死ね」など傷つく言葉は言わないようにします。私はいじめをしたら、必ず自分に返ってくると思います。中嶋先生や大曲先生の話は忘れないようにしたい。」

Jさん

「いじめは知らない。いじめている人は、ほぼ犯罪行為をしている。後の事を考えずに。いじめられている人の気持ちがわかるのか？いじめをしている時点でバカ確定だと思う。」

→ あなたの文字からすごく強いあなたの気持ちが伝わってきました。その卑怯を憎む強い気持ちをいつまでも大切にしてください。いつかその気持ちは誰かを助けるでしょう。ただ人間は間違いを犯す生き物でもあります。みんなはこの意見に対してどう思いますか？

Kさん

「いじめのこともすごく大切だと思います。でも学校にきていない人を助けるのも大事だと思います。この人たちも好きで学校に行っていないわけではないはずです。絶対に学校にいけない理由があると思います。この学年ではこっちも大事だと思います。」

→ 正直に自分の意見を書いてくれてありがとう。あなたのその優しい気持ち、率直な気持ち、勇気がとても嬉しいです。あなたが言う通り、この学年でそのことも本当に大事なことだと思っています。先生たちもどうすることが一番いいのだろうと日々悩み、考えています。難しいのは、こちらが動けば動くほど、それが逆に生徒を苦しめることがあるということです。カウンセラーさんなどの専門家のアドバイスもいただきながら、先生たちも一生懸命考えています。一緒に考えていきましょう。これからもあなたの力を貸してください。

Lさん

「今日聞いたことを小学生のうちに聞きたかったなと思う。「笑ってたら大丈夫」っていう思いをなくしてほしい。」

→ 小学校のときに辛い思いをしたのかな。友達のことかな。何か今日の話があなたの心に響いたのなら嬉しいです。先生たちはいじめだけは絶対にアカン、すべてのことに優先してこの問題には取り

組む気持ちでいます。ぜひ、何かあれば相談してください。

Mさん

「いじめを受ける人は生きていこうとする力を失ってしまうほど辛い思いをしていることがわかった。私たちはニワトリのように自分たちで止められないわけではないから、いじめを防ぐことができると思う。でもいじめている人も、それを見てる人も、その相手がこんな思いをしているよと伝えてもいじめが終わらないこともあると思うから、大人に頼ることも大切だと思った。もし自分が見ている人だったら、大人や信頼できる人に伝えようと思う。」

→ だれでもいいです。信頼できる人に伝えてください。

Nさん

「いじめは犯罪だと知った。絶対にやってはいけないと思った。やられている人がいれば見て見ぬふりをしないと心に決めた。今日の朝にニュースでいじめのやつを見ていて許せないと思った。これからは第二中学校二学年としていじめをなくして楽しい学年にしていきたいと改めて思った。」

→ それがあなたの直感ですね。その直感を信じて進んでください。

Oさん

「ニワトリとは違い、人間にはしゃべる、聞く、考えるなどの力があるのにいじめが起きてしまうのは悲しい。人間だけが持っている話す力を良くするのも、悪くするのも、すべて人間。その悪いことが起こらないようにするために自分でも何ができるかももう1度見つめなおした。起きてからでは遅い。起きる前にどう防止するかを考えるいい授業になった。」

→ 深くしっかり考えてくれて嬉しいです。考えは行動に移してこそ意味を持ちます。学年のため・クラスのため・あなた自身のために、ぜひ実行してください。

Pさん

「今までした話の中で一番「いじめはやってはいけない」と思った。」

一部しか紹介できないのが残念です。これからも遠慮せずどんどんぶつけてください。一緒に考えましょう。勉強ができて、スポーツができて、イジメをする人は人として最低です。イジメのない学年を作ろうね。

